

カテゴリー	報道日	地区	ニュースソース	助産 News 掲載日
その他	2009.11.10	全国	読売新聞 厚生労働省	
タイトル	2008 年の喫煙率「5 人に 1 人」			

2008 年の喫煙率は男女とも減少

2008 年の喫煙率が 21.8%だったことが厚生労働省の調査で分かった。5 年前の 03 年から比較して 5.9 ポイント減っており、長期的にみた喫煙人口の減少がはっきりした。

政府税制調査会では、たばこ税の議論もスタートしており、増税となれば、さらに減少傾向は強まりそうだ。

男女別では、男性が 10.0 ポイント減の 36.8%と大幅に減少。女性は 2.2 ポイント減の 9.1%だった。厚労省は「健康への悪影響などの知識が深まり、たばこに対する意識が変化している」と分析している。

年代別では、男性で最も喫煙率が高いのは 40 歳代で 51.9%(03 年比 3.5 ポイント減)。次いで 30 歳代の 48.6%(同 8.2 ポイント減)、20 歳代の 41.2%(同 14.6 ポイント減)、50 歳代の 41.2%(同 13.2 ポイント減)。女性は 30 歳代が 18.0%(同 0.1 ポイント減)、20 歳代が 14.3%(同 4.7 ポイント減)などだった。

一方、禁煙を試みたことがある人は男性 52.1%、女性 57.0%だったが、「たばこをやめたい」と考えている人の割合は、男性で 28.5%、女性で 37.4%にとどまった。